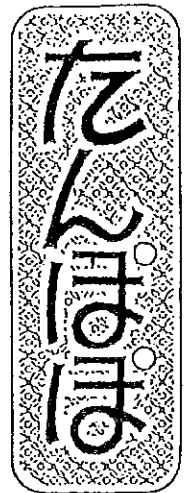


## 災害

理事長 田中 稔

国内では雲仙で、国外ではフィリピンで火山噴火があり大きな被害が出ています。数百年振りの噴火という事で何代にも渡ってその土地で生活を作り上げて来られた方々にとっては思いがけない事です。生活そのものが根本から失われ、何ともお気の毒な事です。

映像で見ますと自然の力の抗し難い激しさと、月へ行く知識と技術を持つ人間の存在の弱さ、小ささとの対比を思い知らされます。被災された方の中には、土地も家も肉親も失われた方がおられ、体育館や公民館での不自由な生活をしいられています。この様な時、体の弱い人、老人障害のある人が真っ先に影響を受け、雲仙のふも



H 3.8.1

No.50

一発行一

〒869-12

熊本県菊池郡

大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

TEL096

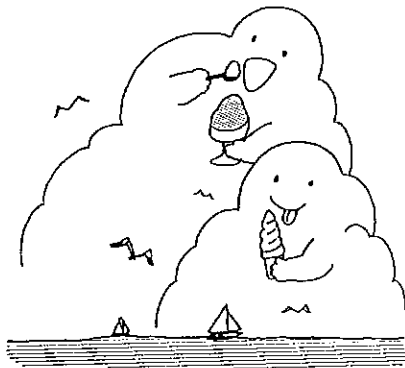
293-8100

とにあった福祉施設に入所されていた人が他の施設へ移って行かれました。それら障害児者の中で、もともと状況への理解や適応、人との接触等に特徴的な欠陥を持つ自閉症児がいる家庭は大変です。突然体育館で過ごす事になれば、その事自体が理解出来ないし、多くの人達との共同生活等も難しいと思われまます。自閉症児者はどこかの施設にも移せるという訳にはいきません。その障害への理解がなければ預けた方も預かった方も大変です。三気の里でも、保護者の希望と行政の理解により島原から1人の園生を引き受けました。遠い所へ子供を出される保護者の想いも色々あった事でしよう。子供さんが早く園の生活に慣れ、笑顔が見られる様になって頂きたいも

のです。

災害や戦争は、弱い者障害児者を苦しめます。今はテレビで戦争や災害がショーの様に見える事の出来る時代です。この事で多くの方々からの善意、義援金が寄せられています。しかし、この様な状況が長くなると人々の関心は薄れ、やがてテレビも次の事件を追っ掛ける事になるでしよう。

「障害児を持つ」「災害に遭う」そんな時、その当事者にとってはまさにその時が始まりでありその事をそれから長く背負って行く人生が待っているという事を忘れて欲しくありません。



## 療育シリーズ

## 就寝

園長 土井尚典

三気の里は午後9時が就寝時間である。9時になって床に入り、すぐ寝付くことは難しい。「寝なさい！」といわれて「はい、グー」と寝れるような器用な園生はめずらしい。私などは寝ようと思えば思うほど目がさえてくる。三気の里での就寝の定義は次のとおりである。①就寝の準備をすませている。②部屋の中で静かにしている。③部屋の電気を小さくしている。園生はこの3つを守らないと注意を受けることになる。園生が言葉が言えたら「俺達だっただまには見たいテレビがあるよ」と言うだろうなと思う。

7月18、19日4班のキャンプに同行した。18日の夜、父兄同行ということもあってなかなか寝付けない園生がいた。私は創くんを就寝させることにチャレンジした。

就寝の準備は既にしてている。部屋の電気は消されている。彼の守ることは「部屋の中で静かにしている」ことである。「あーりゃん」と声を発したり、足で床を「ドーン」とたたいたり、なかなか元気があった。隣に枕をもって行って寝ながら、「静かにしなさい」「今は寝るとき」など話しかけると、ほんの少しの間静かにしている。すぐに退屈して、私の方に近づいてくる。寝たふりをしてしていると、人差し指で私の下唇をペロペロと震わせる。じっとしていると、今度は鼻の穴に人差し指を右・左と突っ込んで遊んでいる。たまりかねて、その手を払った。同じことが何度も繰り返された。気分転換に「おしっこ？」と聞くとあごを上下に振って「ウン、ウン」という。「行ってらっしゃい」というと、急いで屋外のトイレに行った。窓から見ていると裸足で行っていた。キャンプだからいいかと勝手な理由をつけた。

戻ってきて、しばらくは落ち着いていた。しばらく沈黙が続いて、また寝返りをしてくる。唇をペロペロして、鼻の穴をホジリホジリする。我慢できないので、右手をつかまえていると左手で私のはげ頭を撫で撫でする。左手もつかまえて寝たふりをしていた。今度は左足をおなかのうえに乗せてくる。じっとしていると右足も乗せてくる。動かずにいると右足の親指で私の唇をペロペロしだした。目をぱっと開けて「寝るネ？」と聞くとあごを上下に振って「ウンウン」という。つかまえていた両手を離すと私から離れてしばらく寝ていた。また、ごろりと私に近付き私の手を引っ張って枕にした。色々考えて来る。延々とペロペロ・ホジリホジリ・腕つかまえ、「寝るネ」が繰り返されとうとうあきらめたらしく、静かにゴロゴロしているうちに寝てしまった。

そばにいたこと。相手をしなかったこと。叱らなかつたことが良かったこと。

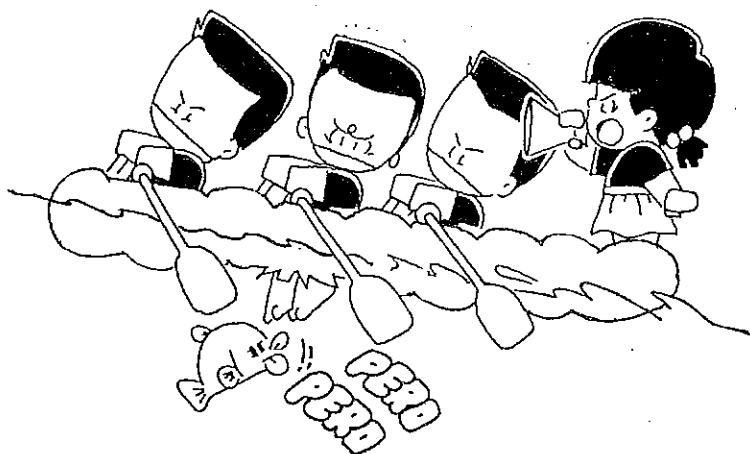


### 3 班 浦島太郎子

夏になると“大塚さんが研修で留守をすると立派な(?)作品が出来上がる”と、ある指導員(療育シリーズで山登りの時に園長がみんなに追いついたとたん、“じゃ、行こうか!”と行った人です。)が言います。実際に私が研修から帰って来たら、2年前は、すのこが出来上がっていましたし、去年は、とんでもない事をしていたのですが(廃材にカンナをかけて)、花壇の柵が出来上がっていました。それが、しばらく(1週間くらい)しか離れて見てない私の目にも、みんながそれぞれのパートを受け持って、明らかに上達している様に見えるのです。私は“浦島太郎子”になった気分です。そして今年、実は明日から私は研修です。ちなみに今、木工作業では箸置きを製作中です。

今年の夏も楽しみだなあ・・・。

大塚



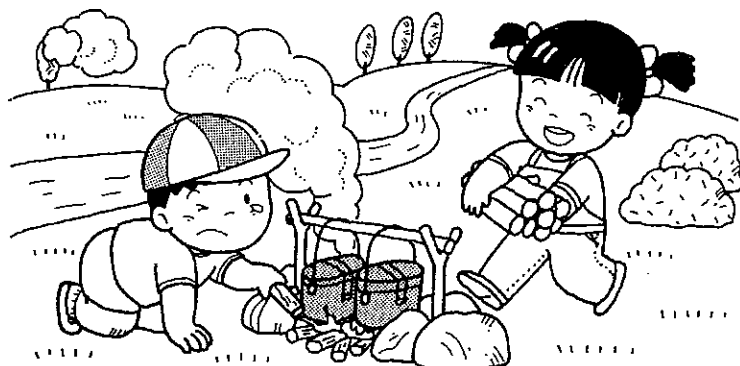
### 4 班 楽しかったキャンプ

夏休みを前にして、4班は、2つの班に分かれ父兄と一緒にキャンプに行ってきました。最初は、県外の海へ2泊3日で行く予定にしていたのですが、長い梅雨の為、急遽、阿蘇のペンショングルメツアーと菊水・荒尾冒険ツアーになりました。グルメツアーは、その名の通り、おいしいステーキを食べ、おまけにプールと温泉がついているというリッチなコースで、冒険ツアーはゴムボートに乗ったり遊園地で遊んだり、スリル満点のコースでした。特にゴムボートでは、恐がって乗れない人がいるだろうと心配していたのですが、いざ乗ってみると、みんなニコニコ顔で、楽しんでいました。遊園地では、ちょっと暑くて乗り物より飲み物の方へと目が行ってしまいました・・・、お母さん方と一緒に楽しい2日間を過ごすことができました。

さ・あ・て・来年は、どこに行こうかな。

PS. 菊水丸太村の村長さん一家、大変お世話になりました。

橋本



## 1 班 キャンプだ！園長

7月11日から1泊2日で大分県上津江村のフィッシングパークでキャンプをしました。慌ただしく出発、現地到着後荷物をログキャビンに運び込み早速昼食の弁当を食べ、お腹を満たした後川で水遊び、あまりの冷たさに入り続けられたのは、水遊びの好きな肇君ただ一人、川に入ると冷たくてすぐに岩場上がり『あー冷たかった』と足をさすりながら楽しそうに笑っていた博君、岩場でピョンピョン跳び回っていた聡君、水のかけあいを楽しんでいた憲ちゃん、マス釣りに出掛け8尾も釣った園長、そのたびにはしゃいでいた忠ちゃん、辛抱強く浮きを見詰めていた辰治さん、それをマナー良く静観していた宣陽さん、夕餉に出た素焼きのマス、おいしかったね。夜はキャンプファイヤー、強風で火を点けるのに一苦勞、園長の根気で火を点け、花火を開始。初めから終わりまで楽しんでいた久美ちゃん、何をしててもマイペースの勝ちゃん、楽しめたかな？翌日は山の散策、ドライブをして園に到着。一番疲れたのは園長だったかな。お疲れ様でした。

田辺

## 2 班 バーベキューは美味しかった！

7月4日、2班恒例のバーベキュー大会、今日ばかりは、お父さん、お母さんの腕の見せどころ、いざ矢護山・陽の晴キャンプ場へ。ところが、あいにくの雨、バーベキューには支障はなかったものの、出来るまで水遊びをといた計画は、もろくもくずれてしまいました。

2班のレクと言うと必ず失敗の連続と言われ、今年こそはと担当もいきごみ、昨年忘れたスコップ、タレ用容器も完璧に準備、昨年、一昨年なかなかつかなかった火も甲斐さんのおかげですんなりついた。もう今日は完璧と思いきや、「オーイ、タレは？」と言う声に「ドキッ」とした職員の額からは、ジトッと汗がつたい、思わず、塩コショウは用意したのにと、自分を慰めていた。いつものことと言いつつも、皆と三気の里へドライブ。戻ると「中止ね！」と尋ねられ、首を横に振ると「アハハ」と笑っていただけました。来年こそは完璧！

坂井

## —デンタル通信—

『鏡とにらめっこ』

森 隆子

あなたは、口の中の事をどれだけ知っていますか？

前回、お話しした早期発見を自分でやってみて下さい。それでは、口の中を鏡とにらめっこしてみして下さい。初めに、『イッー』として歯肉を診て下さい。ピンク色で締まっていれば健康です。赤く、腫れぼったく、出血するのは要注意です。歯磨きの時、よく歯肉をマッサージする事で治ります。次に大きく口を開けて下さい。物が詰まる所、しみる所、咬合痛はありませんか。虫歯と違って下さい。次は下の前歯の裏を診て下さい。歯石が付いていませんか。ここは、一番付きやすい所です。歯石は、歯槽膿漏の原因となりますので定期的に取って下さい。あなたの口の中はどうでしたか？思いあたる点があれば、今すぐ歯医者さんに行つて診てもらいましょう。

## 職員研修

長友 利恵

7月3日〜6日まで沖繩に園長と2人で、研修に行きました。

出発の日、熊本は曇りでしたが、飛行機から降りた途端、一言「暑い」とつぶやいてしまいました。初めての沖繩で、本当は嬉しいのですが、研修2日目の分科会（給食）の司会を務めなければならぬ私は、喜ぶにも喜こべず、緊張していました。

7月4日、分科会が始まり、午前中はテーマにそって意見発表があり、助言者である園長の助言がありました。午後からは、テーマにそってのグループ討議が行われ、他施設のいろいろな意見を聞いてよい勉強となりました。

## めぶき園見学

武藤悦子

7月6日（土）に5月に開所されたばかりの大分県のめぶき園を見学させて頂きました。3月に指導員の方が3名、1週間程研修に来られていたので、元気にされているかな？と思いながらバスに揺られ一路犬飼町へ。途中からどんどん山道を登っていくとばあーと開けた山のでっぺんにめぶき園は建っていました。園長、事務長先生に園内を案内して頂き、話を伺いました。家庭的な雰囲気や大事にされているという事で、色々な所に気を配られていると。最後に意見交換の場が設けられました。開所して2ヶ月だが、大変子供達が落ち着いているとの事には驚きました。これからひとつひとつ作っていかれる事と思います。私達も初心にかえって頑張っていきたいと思えます。最後にめぶき園の方々ありがとうございました。



## ぼらんていあ通信

ゆうこちゃん

散髪に一人、お掃除に一人いつも来られる方がいます。三気のゆうこちゃんは最近園に来たばかりでしたが、この月に一度来る二人が、一体どういう人かをしばらく観察している様でした。今月もその二人はやって来て、散髪とお掃除とに分かれて作業をされているその二人の様子を、ゆうこちゃんは時折二階から一階に降りて来て見ていましたが、その姿は何かを待っている様にも見えませんでした。そうして二人が作業を終え、玄関から挨拶をしながら去って行かれています。『さよーならー。』

突然ゆうこちゃんがスリッパのまま駆け出して来て、二人を追い掛ける感じになりました。『さよーならー。』ゆうこちゃん特有の少しかん高いリズムカルな調子のある声で、いつまでも手を振りながら繰り返し返しました。二人は嬉しそ

うに、『ありがとう。』と言って手を振りながら帰っていかれましたが、驚いたのは職員です。

今まで、どういったお客様が来られてもゆうこちゃんのそういった姿を見た事がなかったからです。月に一度やって来て作業をして帰られる二人が、ゆうこちゃんのようにどういう風に写っていたのでしょうか。きっと、ちよっぴり不思議な人物に写っていたのでしようね。ゆうこちゃん自身が髪を切ってもらった訳ではないのですが、ゆうこちゃんの探究心をそそのかす“ステキ”なおお客様だったに違いありません。皆さんもそんな『ステキなおお客様』になってみませんか。三気の里の玄関のとびらはいつでも開く様になっています。

VO ありがとう

坂本シマコさん

遠山一恵さん

刺し子の先生方

散髪

園内掃除



## 食堂営業中

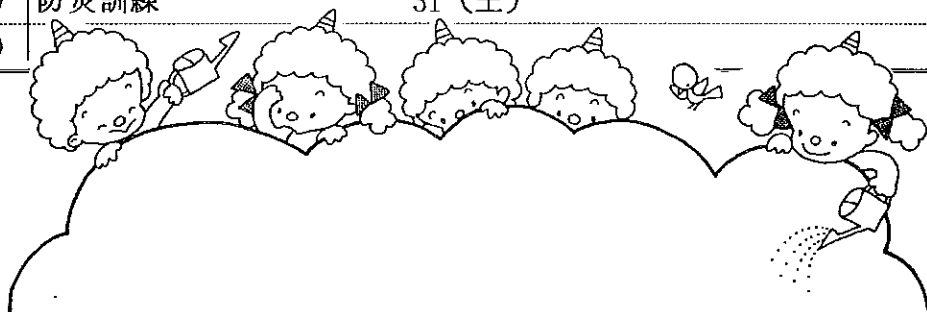
朝食が終わり、やっと一段落し、次なる食事への準備を始めるころ、そのそとやって来る人影。「ほーら来た」と思わせる程、あきもせず（呆れてしまうのは私たちの方であるが…）1日2回必ず献立チェックをするその名も「てっちゃん」参上である。小さいドーナッツを思わせる口で必死に見せて欲しいと言ってくる。ここで意地悪な厨房のお姉さんは、「ちゃんといいなさい！」と、いつの間にか指導員のようなのである。こんなやりとりが、午後4時半ごろ、もう一度行われます。珍しく、夕食後にやってきたてっちゃん（熱心なてっちゃんも今日は遅刻である）、これ幸いと意地悪な厨房のお姉さんに「お手伝いしたら見せてあげる」と言われ、やむなくふきんを手にしたのである。

最近、厨房の中に園生がよく引き込まれているのは、他の誰でもない私のせいでしょう。

田辺ゆ

## 8月の行事予定

1 (木)	体重測定	17 (土)	
2 (金)		18 (日)	帰園生受け入れ
3 (土)	夏祭り	19 (月)	
4 (日)	帰宅日 父兄会 シーツ交換	20 (火)	
5 (月)	夏季帰宅	自主研修会	21 (水)
6 (火)			22 (木)
7 (水)			23 (金)
8 (木)			24 (土)
9 (金)			25 (日)
10 (土)			26 (月)
11 (日)			27 (火)
12 (月)			28 (水)
13 (火)		29 (木)	誕生会
14 (水)		30 (金)	大掃除
15 (木)	防災訓練	31 (土)	
16 (金)			



後援会入会

ありがとうございます

塚本謙二 伊佐治 弘

東島龍二郎 小屋野ミチ子

大村桂子 村上淳一

服部陵子 山内久己子

武藤悦子 安武美紀

北島照明 山本昌央

中下 清

七月二十六日付け

※敬称略

※訂正とお詫び

たんぽぽ四九号(平成三年6月発行)のこの欄で坂田博則様を坂田博様に訂正します。お名前を間違えましたことをお詫び致します。

編集後記

空っぽの事務所で私はカタカタとワープロをたたいていました。他の人は、大津高校の甲子園出場を夢見て熱く燃えていました。夏冷蔵庫(山崎さん、松本さん)トイレットパー(村上さん)を戴き、ありがとうございました。